

ごみ処理の有料化に関する説明会

1 日 時：令和3年7月27日(水) 午後7時～9時

2 場 所：高南コミュニティーセンター

3 出席者：30人

4 次 第

(1) あいさつ

(2) ごみ減量啓発動画の視聴

(3) ごみの有料化(案)の説明

(4) 質疑応答

Q：今の袋は材質的に弱いように思う。材質を見直す考えはあるのか？

A：新しく袋を作るのに合わせ、材質も破けにくいものに見直していく考えです。

Q：袋井市においては、しっかりと分別されていたのに、平成28年度にプラスチックごみの出し方について見直しを行ったため、分別が徹底されなくなった。有料化より、分別の啓発を行い、平成28年度以前の状況に戻す方が先ではないか？

A：平成28年度から、容器包装プラスチック以外のものや、汚れている容器包装プラスチックについて、それまでも焼却処理していましたので、皆さんの利便性を図るため、可燃ごみとして緑の袋に入れても良いものとなりました。そうしたところ、プラスチックは燃やしてもいいとの誤解を招いてしまいました。その直後から、広報や班内回覧、ホームページなどで、分別の徹底を呼び掛けてまいりましたが、誤解を払拭するまでには至っておりません。有料化をさせていただきますと、分別に対する意識が高まりますので、この機に合わせ、啓発も改めて力を入れて行い、分別を徹底してまいりますので、ご理解をお願いします。

Q：中遠クリーンセンターは、森町と共用しているのに、有料化すると不公平にならないか？

A：森町は、平成19年から有料化しており、現在、1枚18円となっています。

Q：森町では、不満は出ていないのか？

A：有料化した当時は、不満の声もあったかも知れないが、特に把握をしていませんので、ご了解ください。

Q：森町との話し合いはしているのか？

A：袋井市のごみが減ると、森町の分担金が増えるというように、森町にも影響が出てきますので、情報提供は常にさせていただいています。

Q：ごみ袋の消費税はどうなるのか？

A：内税としたいと考えています。30円の中に含まれているということです。

Q：それが分かる表記としていただきたい。

A：内税が分かる表記とさせていただきます。

Q：カラス対策で、ブルーシートで囲むなど、大変苦慮している。

A：現在も黄色のカラスネットを配布させていただいていますので、そういった対応をさせていただきます。

Q：カラスネットは、あまり効果的ではない。

A：研究をさせていただきます。

Q：値上げしたが、ごみが減らないので、また値上げということにはならないか？

A：今回、我々の提案させていただいている有料化は、そこで得られた収入により、様々なごみのリサイクルを行い、ごみの減量を行っていくものであります。従って、有料化をしたが、ごみが減らなかったというようにならないような施策を行っていきますので、ごみは確実に減らしていきます。

Q：子どもたちのために、温室効果ガスを削減していくことは、とても大切なことだと考えている。平成28年以前の分別に戻すという話があったが、そのようになったら、有料化は行わないという考えか？

A：温室効果ガスを46%削減していくためには、ありとあらゆることを行っていかなければ、実現不可能なことだと考えています。分別が徹底し、ごみが減った場合であっても、有料化によりさらにごみが減る可能性があるなら、有料化はさせていただきたいと考えています。

Q：温室効果ガスを削減していく施策は、何を、いつ、実施してもらえるのか？

A：新たなリサイクルを行うためには、新たな費用が必要となります。袋井市も財政状況が厳しく、温室効果ガス削減のために割く予算も多くありませんので、有料化に得られた収入をそこに充当していく考えです。そのため、温室効果ガスを削減していく施策については、有料化と同時ということでご理解をお願いします。

Q：小中学校で配られたちらしから見られる動画と、今日の動画の内容が一部違っていた。小中学生用の動画では、有料化に得られた収入で、道路や学校、水道などをつくることのできるようになっていたが、有料化で得られた収入は、温室効果ガス削減に使うべきだと考えるがどうか？

A：動画の内容につきましては、見直しを行いました。小中学生用の動画は、古い内容で作られたものですので、多少内容が違っています。有料化で得られた収入につきましては、担当課としては、なるべく温室効果ガス削減のために使っていきたいと考えています。ただし、今までは全て税金でごみ処理を行ってききましたが、有料化により財源が得られれば、今までそちらに充てていた税金で、ほかのことは行えることにもなりまし、道路や学校、水道などをつくることも大切なことで、行わなければいけないことですので、そういった表現をさせてもらっています。

Q：中遠クリーンセンターのごみ処理手数料の見直しは行わないのか？

A：年々ごみ処理費が増えているにも関わらず、中遠クリーンセンターのごみ処理手数料は、平成20年の施設稼働以来、一度も見直していません。そのため、ごみ処理の有料化と同時期に、値上げをしたいと検討しています。ただし、こちらにつきましては、袋井

市と森町の組合での話でありますので、今日は説明を行いませんでした。詳細については、決まり次第、また皆さんにお知らせしていきます。

Q：生ごみについては、200万円の予算で、1,000 tの温室効果ガスの削減。草木は2,000万円掛け700 tのガス削減では、費用のわりに効果がないのではないか？

A：生ごみの200万円の予算は、家庭向けのごみ処理機・コンポスト等への補助に掛かる金額です。そのほかに、大型ごみ処理機1台200～500万円を地域に置かせていただくことも考えていますので、それらを合わせて1,000 tのガス削減ということです。

Q：不法投棄対策は考えているのか？

A：現在は、2人1班体制でパトロールを行っております。この人数を増やすなどの対応を行っていきます。

Q：現在も対応を行っているのか？

A：連絡をいただければ、対応をさせていただきます。

Q：ごみ処理の有料化により得られた収入で、どういったことをするのか、もう少し明確にしてもらえないと、ごみ処理の有料化に賛成していいのかが判断できない。皆と話し合う際に、そういったものを確認できる資料をもらえないか？

A：こういった施策をしたいというのは、動画で説明させてもらったことです。動画については、市のホームページで、本日流させていただいた新しいものをご覧いただけますので、そちらで確認いただければと思います。

Q：雑紙や草木の回収、大型生ごみ処理機の設置というが、管理は誰がやるのか？地元でやれと言うのか？大型生ごみ処理機の設置は強制か？

A：雑紙については、できれば、月2回、自治会で行っていただいている集団回収の際に、回収する場所を一区画設けていただきたいと考えております。草木についても、設置させていただくのは、地域となりますので、基本的にはご協力いただきたいと考えます。ただし、不法投棄をされた場合などについては、ご連絡いただければ、対応させていただきます。大型生ごみ処理機については、希望があった場合に設置させていただきますので、希望された人たちに管理をお願いしたいと考えます。あくまでも希望であり、強制して行ってもらうことは考えていません。

※大型生ごみ処理機のメンテナンス契約は、市の方で、メーカーと行います。(当日は回答をしていません)

Q：生ごみ処理機は、臭いがするのではないか？

A：臭いについては、現在、研究を行っています。生ごみ処理機については、大きく3方式があります。まず、肥料化するもの。こちらは臭いが出やすいです。それから乾燥させるもの。こちらは電気代などが掛かります。最後に、分解式のもので、処理されたものを、肥料として取り出すのではなく、水で流し、下水処理施設に流してしまうものです。今、市で計画しているのは、分解式タイプです。先日、使用している川根本町の給食センターへ視察に行ってきました。機械の蓋を開け、顔を近づければ、酸っぱい発酵臭はしますが、臭いが強いというほどではありませんでした。こちらについては、市内でデモンストレーションを計画していますので、またご覧いただければと考えます。

Q：有料化前に、今まで何かやってきたのか？

A：皆さんからすると、まだまだと言われるでしょうけど、市も、分別に対する広報や啓発、「水切り大作戦」といったごみ減量化策を実施してきました。ただし、今まで行ってきたことは、どちらかと言えば、皆さんにお願いするだけで、特に予算も掛けずに、実施してきました。今回は、有料化で得られた収入を使い、新たな減量化を行っていくものでありますので、ご理解をお願いします。

Q：温室効果ガスの削減とって、地方の一自治体が行っても、効果が薄いのではないか？

A：袋井市全体では、75万トンもの温室効果ガスが出ています。そのうち3万トンが市の事業から出されているということで、25分の1程度となります。民間で出されている温室効果ガスは、基準年から1割程度、確実に減ってきています。理由は、ご家庭で考えると分かりやすいですけど、省エネ家電に買い替えたり、燃費のいい車にしたりと、確実に減っています。企業も同様で、新しい設備投資を行うと、省エネに繋がっていきます。これは、全国的な傾向です。一方、市の事業で出ている温室効果ガスは、ごみが増えているため、増え続けています。市は、皆さんの模範として、温室効果ガスを減らし、皆さんにもお願いしていかなければならないのに、増えているのでは、お願いすることもできません。そのため、是が非でも、温室効果ガスを減らしていく考えであります。また、効果が薄いからとやらなければ、やる人はいなくなってしまうので、ご理解をお願いします。

Q：30円の値上げは大き過ぎる。

A：30円の提案をさせていただいているのは、1袋を燃やすのに60円掛かっているの、その半分の負担をお願いしたいということ。それから、全国的な統計で、30円がなるべく皆さんの負担が少ない中で、効果が高いことからです。ただし、金額については、決定ということではありませんので、今回の説明会で、皆さんのご意見を伺う中で、総合的に判断させていただきたいと考えています。

Q：袋井市だけの問題ではないが、ごみを減らしたくても、過剰包装で、ごみを減らすことができない。

A：おっしゃるとおり、袋井市だけで解決できることではないと考えますが、一度、市内のスーパーの店長さんと話し合いの場を持っていきたいと考えています。

Q：有料化は決定ではないというが、どうなれば決定となるのか？

A：2月の市議会で、条例改正の議決をいただきますので、そこで決定となります。

Q：近隣の状況はどうか？浜松市は有料化しないのか？

A：掛川市が1枚当たりの袋の値段が22円。森が18円。少し遠いですが、川根本町が30円。あと、伊豆の方は20円程度が多いです。浜松市は、一度有料化を議会に提案したが、反対され、断念をしています。ただし、現在、袋井市と並行する形で、有料化を再度検討しています。また、東伊豆町と河津町も、現在、ごみ有料化の説明会を行っています。

Q：30円は決定でないということでよいのか？

A：先ほど申し上げたとおり、決定ではありません。ただし、有料化はできればお願いしたいと考えています。理由としては、何かごみ減量化策を行いたくても、財源がなく、行えないからです。

Q：袋の業者は、入札で1社となるのか？現在の袋の値段が、お店によって、多少異なるのはなぜか？値段のしぼりみたいなものはあるのか？

A：現在もそうですけど、入札ではなく、作りたい業者に作ってもらう形としたいと考えています。値段が多少異なるのは、製造業者や小売店の努力によるものです。従って、値段のしぼりはありません。ただし今回、有料化をお願いしている手数料部分については、どのお店でも一律となります。

Q：人口が1%増えたのに対し、ごみは18%、5,000t増えたとのことだが、ごみには森町のごみ、事業所のごみ、下水汚泥、し尿汚泥も含まれているので、市民にだけ負担しろというのは、おかしいのではないか？

A：今日の説明は、家庭系に限ったものを行わせてもらっており、事業系のごみ、下水汚泥、し尿汚泥についても、処理手数料の見直しにより、応分の負担を行っていただく予定です。

Q：クリーンセンターの処理能力の97%に達したのは、汚泥を処理するようにしたからではないのか？

A：し尿汚泥については、当時、衛生センターの肥料化施設が故障しました。その更新には2億円掛かるということで、更新ではなくクリーンセンターで処理することを、選択した経緯があります。下水汚泥についても、当初からクリーンセンターで処理する計画となっており、補助金もその分、国からもらっております。また、計画よりも現在の処理量は少ないため、下水汚泥により、クリーンセンターが満杯になったわけではありません。

Q：10年前と比べると、世帯数がかなり増えている。世帯数が増えれば、固定資産税も増えたと思うので、そのお金で、ごみ減量をすればいいのではないか？

A：世帯数は増えていますが、固定資産税は増えていません。若い世帯の核家族化によって、世帯数は増えているものの、アパート住まいが増えており、固定資産税は増えていないものと考えています。

Q：中遠クリーンセンターは、全ての処理方式の中で最も高温であり、鉄でも溶かすという話だったがいかがか？そういった説明で、ごみが増えたのではないか？

A：中遠クリーンセンターは、全ての処理方式の中で最も高温であり、鉄でも溶かしてしまうのは事実です。しかし、だから燃やしましょうとは説明していませんので、ご理解をお願いします。

Q：プラスチックをごみに入れることにより、カロリーが上がり、使う燃料を減らせるのではないのか？

A：確かにプラスチックのカロリーは、高いです。しかし、ごみのどこにプラスチックが入っているのかは分かりません。ごみが燃えたり、燃えなかったりでは、処理がうまくできないため、安定的に燃える温度となるよう、助燃材のコークス（石炭）を入れることとなります。そのため、ごみの量が増えたことにより、コークスの使用量は、むしろ増えてしまいます。